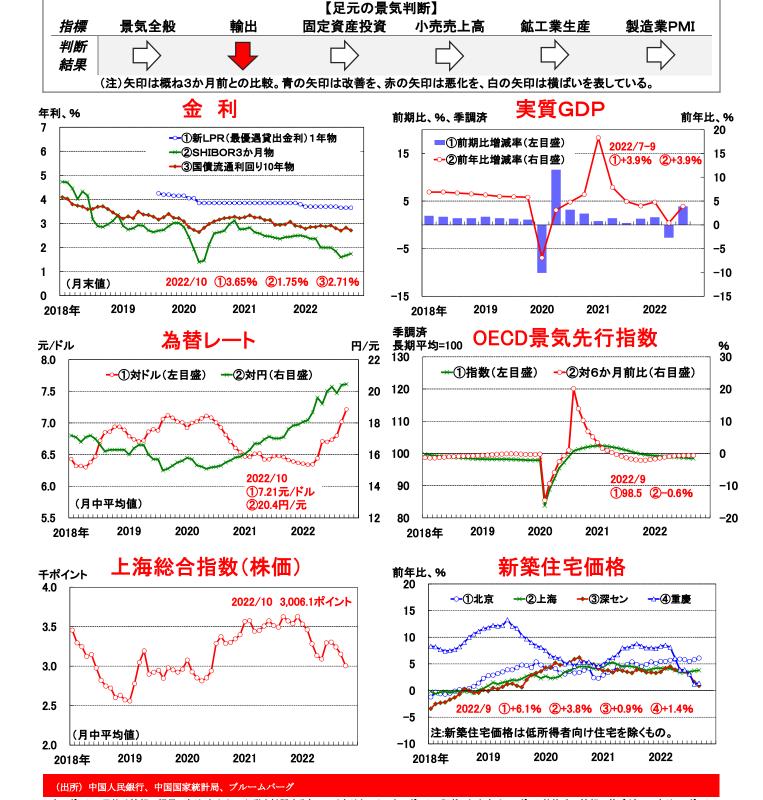
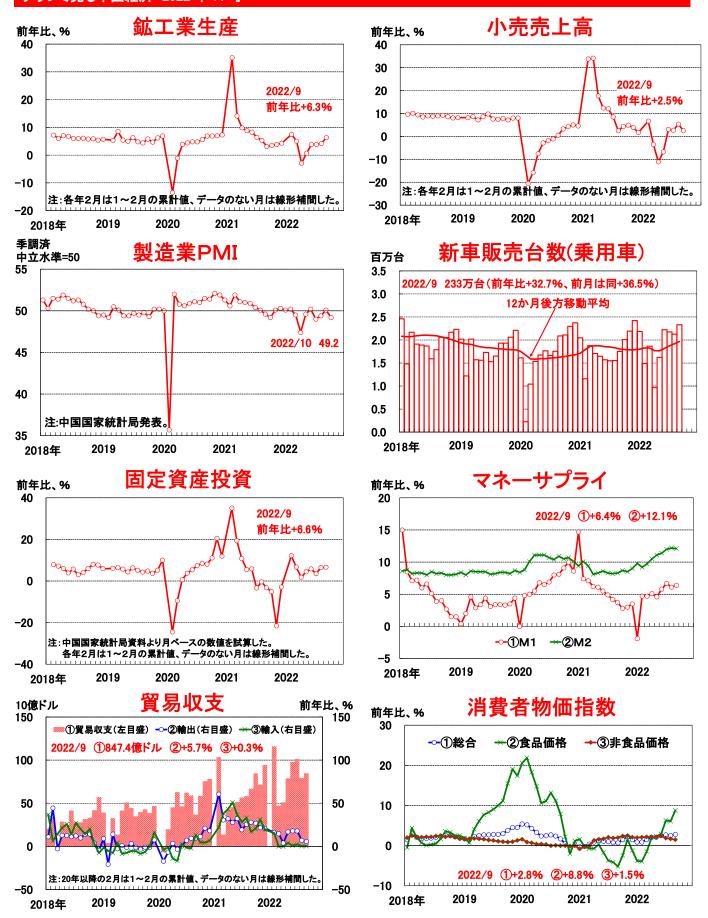
## グラフで見る中国経済 2022 年 11 月号(No. 162)

中国の22年7~9月期の実質GDP(国内総生産)は前年比+3.9%と、上海市の都市封鎖の影響から急減速した前期(同+0.4%)に比べて改善した。ただ、海外需要の減少や、コロナの感染拡大に伴う頻繁な移動制限の実施などを背景に、景気回復の動きは依然として鈍い。すなわち、月次指標をみると、欧米諸国の景気鈍化などを背景に輸出が減速している。また個人消費については、小売売上高の増勢が高まらず、引き続き伸び悩んでいる。こうした中で、製造業の景況感を示す製造業PMIは10月に49.2と再び中立水準(50)を下回った。



本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載した内容は、レポート執筆時の情報に基づくものであり、レポート発行後に予告なく変更されることがあります。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。

## グラフで見る中国経済 2022 年 11 号



(出所)中国国家統計局、中国海関総署、中国商務部、中国汽車工業協会、中国物流購買連合会、中国人民銀行、CEIC、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載した内容は、レポート執筆時の情報に基づくものであり、レポート発行後に予告なく変更されることがあります。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。